

公表:平成31年3月25日

事業所名 放課後等デイサービス 糸

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	1	4部屋を活用している。	個別療育の為にもう少しきりをするなどし部屋数を増やして行きたい。
	② 職員の配置数は適切であるか	2	3	1		今後検討していきたい。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	2		福祉事業所としてはバリアフリーが望ましいが現時点では改善できていない。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	1	3	会議の回数を増やしている。	パート職員が加わっていない事が多い。今後参加する機会を作って行く。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0	保護者の意向、改善して欲しいという意見を会議で話し合っている。	避難訓練など実施しているか分からないという意見を頂き
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0		評価表は28年度から紙面にて公表、保護者に配布する。今年度はホームページも活用する。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	6		外部評価を依頼していない。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	出来るだけ多くの研修会に参加している。	部内研修を充実させている。現在進めている個別療育の経過を共有している。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	病院の検査結果を参考にしている。	アセスメントをしっかりとれるように力を付けていきたい。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0		アセスメントツールを設定するために検討中。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	0	行事に関しては担当制だが多くの意見を集約している。	大きな行事(運動会、BBQ、クリスマス会など)はプロジェクトを作って行っている。今後も継続していく。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	室内だけにならないようにし、公共施設など活用している。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	個別、小集団とメリハリをつけている。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	ガイドラインを参考にしている。	7つのスキルに基づき計画を進めていく。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	0	朝の打ち合わせで確認している。	遅番の職員にも伝え忘れの無いようにする。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	1	送迎終了後個別記録を記入し反省点など話し合いをしている。	その場にはいない職員にも伝える為にグループラインなど必要か。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	支援会議に活用している。	送迎後、記録を書いている。一人だけの意見ではなく多方面から見たことを記録している。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	変化があった時、見直しをして作成している。	
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	0	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	児発管が参加することが多い。	指導員も参加できるように時間、開催場所を工夫していく。
	⑩㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	保護者を通して確認している。学校にお尋ねすることもある。	
	⑩㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	0	0	保護者から詳しい情報を頂いている。	救急車要請の要領など全員が対応できるように会議を重ねている。
	⑩㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	0	必要な児童には行っている。	
	⑩㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					利用児童が必要になったら都度行う。
	⑩㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	0	児童発達支援センター「おがる」より機関支援を受けている。	「おがる」のセンター長の研修を本事業所で行い保護者と共有している。
	⑩㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	0	0	隣接している公園で一緒に遊んでいる。	公園でゲームや遊びをする時誘い一緒に活動している。
	⑩㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	0	100%に近い確率で参加している。	今後も継続して参加する。
	⑩㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	メール、電話、ライン、ライン動画、連絡帳で伝え話し合っている。	
	⑩㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	0	0	保護者研修会を開催している。サポートファイルさっぼろの取り組みを事業所全体で行っている。	都度アドバイスや参考資料を配布している。茶話会の実施、参観日の設定など行っていく。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0		
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	事業所携帯を24時間利用できるようにしている。	今後も継続していく。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	0	母の日の集い、サポートファイルさっぽろを書く会、保護者研修会を開催している。	より多くの方が参加できるように日時、場所を工夫していく。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0		
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	書面、ライン、メール、電話を利用して発信している。	月のお便り行事予定表、行事説明書、仕合わせ日記の配布を継続していく。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6	0	0		
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0		
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	0	0	近隣公園のお祭りに全面協力している。食べ物の販売、お話しコーナーなど開催している。	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	感染症対策マニュアルは保護者に配布している。職員は周知している。	来所時保護者に見て頂く事とする。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	防災センターを活用している。	月1の避難訓練を行っている。また、写真入りのお便りで状況を発信している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	0	強度行動障害の研修会、他の研修会で学んでいる。	会議の中で研修の内容を共有している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか					必要な児童が利用した時に討議をする。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	0	保護者より教えてもらい除去食にしている。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	データを紙面でファイリングして見やすい。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。